

えがお



パソコンや携帯で「伊那市えがお」と検索するか、下のQRコードから入ると、令和4年度分からカラーでご覧いただけます。



令和6年度
No. 8
3月5日

西箕輪公民館人権同和教育講演会 「満蒙開拓富貴原郷開拓団 くわしたたちの郷里から満州 開拓に行った人々について」

西箕輪公民館の人権同和教育講演会が、講師に箕輪郷土博物館館長の柴秀毅（しばひでき）先生をお迎えして行われました。

はじめに、人権獲得の歴史や満州国建国までの経過について説明していただき、開拓団のお話に入っていました。



現地召集されました。
昭和20年8月9日に日ソ中立条約を破ってソ連軍の侵攻がはじまり、日本は15日に終戦を迎えましたが、開拓団の人たちが終戦を知ったのは、19日のことで、それから、現地中国人やソ連兵等の襲撃から逃れるため、苦難の逃避行がはじまりました。女性は連れていかれないように、頭を丸坊主にして、顔に墨を塗り、男性のふりをして身を守りました。富貴原郷開拓団への参加者は316人、このうち、終戦前に帰国又は死亡した19人を除くと、終戦時の団員数は297人。その中で、生還者は193人、死亡85人、現地残留者17人（うち6人はその後帰国）、消息不明者2人というところで、3人に1人は、2度と祖国の土を踏むことはできませんでした。

最後に、帰国した皆さんが自らまとめた「手記」を紹介していただきました。そこには、召集により家族と別れなければならない悲しみ、人を人として扱わない軍の不条理、怖ろしい襲撃の様子、飢えと病氣、死んでいく同士、この悲劇が二度と再び繰り返されないようにという強い思いが記され、それら1つ1つが胸に刺さりました。



昭和19年、「開拓団員に召集はない。」と聞いていたのに、団員に初めての令状が届きました。戦況の悪化と共に、結果的にはほとんどの男性が

最後に、豊富な資料で、開拓団の様子を詳細に教えていただき、その当時の人々の気持ちに寄り添いながらお話ししていただきました。私たちは戦争が人権を脅かす最悪の事態であることに改めて気づき、いつまでも語り継ぎ、決して忘れてはならない歴史であることを、深く心に刻んだ講演会でした。



令和6年度 各小中学校よりよい教育環境推進連絡会の「課題と次年度の取り組みの方向」について

伊那小学校【みまよせの子らを育てる会】



- 見守り隊の方や安心の家の方に学校にお越しいただいて、子どもたちとの交流ができるようにしたい。
- 地域にも積極的に呼びかけて見守り隊の方の数を増やしていきたい。

伊那北学校【伊那北の子らを守り育てる会】



- 学校応援団、見守り隊、ウォーキング隊の皆さんと学校職員や子どもたちがつながる場の設定
- ・松の剪定ボランティアや花壇ボランティア等、地域の方が学校に来てくださる機会が増えた。子どもと地域の方が直接かわれる場を大切にしていきたい。

○地域の方への学校開放

- ・中校舎の一部を地域に開放し会合等に利用していただくようにした。
- ・スポーツクラブや社協等、外部団体から会合の場所としての利用申請があった。今後も学校を拠点に地域の方が参加できるイベントを一緒に開催し、保護者と地域をつなぐ機会を設ける。

伊那西小学校



【伊那西小学校よりよい教育環境推進協議会】

来年度も、本年度と同様に、安全にかかわる取り組みや、地域との連携を積極的に推進していきたい。

富県小学校【とみがたっ子応援団運営委員会】



- 多くの地域の方に学校へ来ていただく機会として、保護者だけでなく地域の方にも授業公開（授業参観）を開催していく。
- また、学習支援のボランティアを募り、定期的に学校に来ていただけるようにしたい。

○子どもたちに多くの地域の方々が学校を支えていることを知ってもらうため、全校の児童と「とみがたっ子応援団」や「えがおみまもり隊」の皆さんとの顔合わせの機会を設けたい。

伊那東小学校【のびゆく会】



- 「のびゆく会」と「子どもの安全見まもり隊」の情報共有の会の開催

○「子どもの安全見守り隊」の新規会員と「安心の家」の看板新規設置場所の確保

来年度も今年度同様、「のびゆく会」「子どもの安全見守り隊」の総会に合わせて情報共有の会を設けていきたい。その中で「子どもの安全見守り隊」のボランティア新規会員および「安心の家」の新規看板設置場所をどのように確保していくか話題にしていきたい。

新山小学校【新山よりよい教育環境推進協議会】

○交流について



- ・新山保育園とは場所が近く、兄妹関係が多いこともあり、子ども同士顔と名前が分かるくらいの交流ができている。小学生は交流をする度に保育園児との交わり方が上手になっていて、小学生にとってなくてはならない学習の場となっている。

また子どもについての職員の情報交換も直接顔を合わせて頻繁に行うことができおり、少人数の子ども一人ひとりの様子を的確に把握することに役立っている。月1回のなかよし連絡会をベースにして、今後も臨機応変に連携していきたい。

○安全について

- ・安全パトロール隊をはじめ地域の方が、登下校の際に通学路に出て見守ったり、巡視したりすることで事故なく登下校できた。
- ・工事等で通学路に異常があった際には、すぐに職員が現場に確認に行き、写真を撮って全職員と共有した。雪かきは、地域の関係者にお世話になりながら、職員は児童と一緒に雪かき対応をすることができた。





美篤小学校【美篤小の子どもを守り育てる会】



○来年度も伊那市協働のまちづくり交付金を活用した通学の安全確保のための交通安全運動を展開する予定。

○横断歩道での道路横断の仕方を学校と家庭で繰り返し指導していく。横断歩道の前で手をあげて横断する意思をドライバーに伝えること、車が停止するのを確認してから横断すること、横断中も周囲を確認しながら渡ることといった基本的な点ができていない実態がある。

東春近小学校【東春近子ども育成会】



○「子どもを守る安心の家」や、安全見守り隊の登録数が、年々減少してきている。とくに見守り隊は人数も減り、高齢化が進んでいる。複数回、募集をしても、申し込みが全くない状況である。

○校内外で地域の方々にも元気なあいさつができるよう、子ども達にあいさつの大切さや役割を伝えるなどあいさつ指導を充実させていきたい。

西春近北小学校【ごんげんまなびや応援隊】



今年度以上に地域との協働を軸に、できることをできるときにできる形で実施する方向。今後も飲食の伴う会は控える方向で確認をした。

西春近南小学校【南風っ子を育てる会】



○地域の方々のボランティア参加を募る「南小応援隊」について、多くの方々に参加いただけた。分野によってはまだご協力をいただきたいところがあるので、今後さらに募集や確認を進め、さらに多くの方々にご参加いただけるようにしていきたい。

○人数が充実した活動については、自立できる組織にしていきたい。

高遠北小学校【北小子どもを守る会】



○登下校の安全確保に対する取り組みの充実を図る。

○学校教育方針の浸透を図り、地域ぐるみで子どもを育てる気風を更に高める。



長谷小学校・長谷中学校 【長谷の子どもを守り育てる会】 【長谷学校地域支え合いの会】



○子どもたちの安心安全の見守りをしてくださる方々が減らないように再募集等の対策を考えたい。

○小学校では、子どもたちの安全を見守っていただく方の登録は多いが、下校に際し付き添っていただく方はほとんどいない。今年度は、登校時に保護者が1名付き添っていただいたが、下校時は職員が対応するしかなかった。保護者は仕事があって難しいので、下校時の登校を見守ってくれる地域の方の募集を考えたい。

東部中学校【東部中CS運営委員会(すず竹あいわの会)】



○本校は校区が広く小学校のような「見守り隊」組織の活動に難しさもあるが、各小学校の「見守り隊」と中学校PTAとが連携した中学校区の見守り隊の活動を進め、小中学生の登下校時の安全確保をいっそう進めていきたい。

○「見守り隊」としてかつて活動していた際の「名札」については、必要感も含めて今後も協議していきたい。

○旧委員であった警察等の関係団体や地域の方々との意思疎通や意見交換を日常的に行うよう努めていきたい。

○伊那市の道路空間整備作業事業との連携については、今後の動向を見ながら生徒が参画できる活動を模索していく。



高遠中学校【高遠中学校応援隊】

高遠中学校応援隊の方々には、できるだけ交流を通して生徒の成長にかかわっていただけるよう、参観日などの行事にも参加を促していきたい。そして、高遠中学校応援隊の方々とながりを再度確認しつつ、協力体制を確立していきたい。

手良小学校【手良の子どもを守り育てる会】



○「手良の子どもを守り育てる会」では、地域として手良の子どもたちに願う姿や期待すること、めざす子ども像について、話し合いを持った。実現のために、今後も継続すること、取り組んでみたいことを引き続き話し合っていく。

○児童数大幅減に伴い、活動の見直しの時期にきている。子どもの安全見守り隊の方を中心に、協力してくださる方も年々減少傾向にあるなかで、方法を見直し持続可能な取り組みにしていく。

○通学路や登校班の見直しを実施した。見守り隊をはじめとした関係機関に、一層の安全対策をお願いしたい。



西箕輪小学校・西箕輪中学校



【西箕輪学校教育環境推進協議会】

○地域の方々と意見を交わしたり、思いを共有したりする機会をとることができるようになってきた。あいさつ運動や登下校時の見守り等の活動を大切にしながら、地域の方々との連携を念頭に、教育活動を行っていききたい。

○「西箕輪学校教育環境推進協議会とコミュニティスクールの組織について重なる部分が多いので、スリム化がはかれると良い。」というのが、昨年度からの課題であった。そこで、2回目の会議を合同で行った。子どもたちの安心・安全に関わることについて意見交換も行うことができた。



高遠小学校【高遠小応援隊】

○本年度は、周年記念式典もあり、コミュニティスクール運営委員の方々には例年以上に学校に足を運んでいただいた。コミュニティスクール感謝の会(まとめの会)も式典と時期をずらし、3学期に行うことができた。来年度も地域の方々と連携し、よりよい教育活動を行っていかれるよう、コミュニティスクール運営委員の方々と話合っていく。

○引き続き、地域の方皆さんが高遠小応援隊ととらえ、コミュニティスクールの活動や、様々な学校行事への参加を呼びかけ、児童との結びつきを強くしていきたい。

○ボランティアの方々の高齢化に伴い、後継者を探すことが課題である。来年度も、輪を広げていかれるよう、連携しながら取り組んでいきたい。

伊那中学校【伊那中学校よりよい教育環境推進協議会】



○今年度参加していただいた皆様には、会合ではない形式が負担もなく、率直な声を聞けるため好評で、来年度以降もこのような形を継続していきたい。また、気軽に実際の授業や学校での生徒の様子を参観していただき、自由にご意見やご示唆をいただく形態や機会を拡充していく。

○よりよい教育環境推進協議会の委員も含めて、地域と学校が交わり、語り合う機会を増やすことで、「地域の中の学校」といった意識を本校職員も住民の皆さんにも高め、今後も双方の良い関係を保っていききたい。

○本校ホームページなどに、本校の教育活動の様子を地域へ情報発信し、理解していただく取組を継続していく。



春富中学校【矢羽根の会】

生徒数の減少に伴い、PTA活動等もこれまでと同じ活動の維持が難しくなっている。それにより生徒が地域へ出向いて地域と係わる機会も減ってきているが、探求学習の充実などにより、これまでとは違った学校と地域の関わりを工夫していきたい。また、行事だけでなく日常的に地域の皆様に学校へ足を運んでいただける機会や周知方法なども工夫を重ねていきたい。



今年度もありがとうございました！



市内小中学校や公民館のイベントの折には、ご多用のところ取材をさせていただき、大変お世話になりました。おかげさまで、今年度も「えがお」発行することができました。心より感謝申し上げます。また、紙面やホームページで「えがお」をご覧いただいた皆様、ありがとうございました。